

2025年 5月のブロック別総代会議②

2025年5月14日(水)～26日(月)



通常総代会議案

第1号議案(2024年度事業報告承認の件)	---P. 3～
第2号議案(2025年度事業計画・予算設定の件)	---P.47～
第3号議案(役員報酬決定の件)	---P.68～
第70回通常総代会のお知らせ	---P.70

※資料にある数値は4月14日時点のものです。 ※数値は切り捨てで表示しています。



第70回通常総代会

【第1号議案】

2024年度事業報告承認の件

■ 決算について

■ 経常剰余金	6億8,273万円
■ 特別利益(固定資産売却の利益など)	611万円
■ 特別損失(固定資産除却などによる損失)	526万円
■ 税引き前当期剰余金	6億8,359万円

■ 当期剰余金	4億7,924万円
■ 当期首繰越剰余金(前年度からの繰越)	2億6,713万円
■ 任意積立金取崩額	1,603万円

■ 当期末処分剰余金	<u>7億6,241万円</u>
------------	------------------

■ 剰余金処分案について

I. 当期末処分剰余金	-----	7億6,241万1,480円
II. 任意積立金取崩額		
1. 施設等積立金取崩額	-----	6億5,000万円
II. 剰余金処分別		
1. 法定準備金	-----	5,000万円
2. 出資配当金	-----	1,245万967円
3. 任意積立金		
(1) 固定資産再評価等積立金	-----	1億円
(2) 社会貢献等積立金	-----	1,103万1,678円
(3) 災害・リスク対策等積立金	-----	1億円
(4) 70周年記念企画積立金	-----	2,000万円
(5) 事業用施設等積立金	-----	8億円
III. 次期繰越剰余金	-----	3億1,892万8,835円

■ 出資配当について

- (1) 配当対象者は、総代会当日に在籍する組合員です。
ただし、2025年3月20日現在組合員であることが必要です。
- (2) 配当率は、平均出資額の0.2%です。
※なお、出資配当金からは20.42%の源泉所得税が控除されます。
- (3) 平均出資額は、加入期間の出資額を日ごとに足し上げ、
年間日数で割ることで算出します。
- (4) 出資配当は出資金に振り替えます。
- (5) コープデリ宅配利用者は、配達明細書兼請求書でお知らせ、
他の組合員にはハガキでお知らせします。

【例】300日間3万円出資している方の出資配当は・・・

$$300日 \times 3万円 \div 365日 \times 0.2\% = 49円 (1円未満切り捨て)$$



コープぐんま

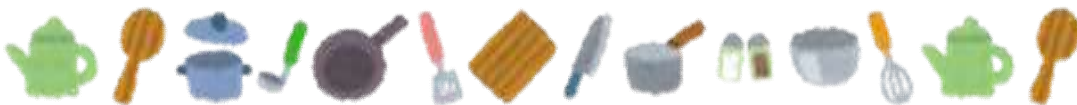
商品全体の取り組み

商品確保、価格対応

- 商品調達を確実に進めながら、**利用しやすい商品・サービス、迅速な価格対応・販促強化**を全事業で進めました。

商品の値上げ要請の事案は引き続き多品目となっているため、仕様の見直しや仕入方法改善など、様々な対策で価格対応を進めました。

量目の変更は、使い勝手から多くの声をいただくために慎重に判断することとしています。
適切な取引と確実な商品調達を行うために多くの商品を値上げしました。



商品全体の取り組み



コープぐんま

2024年度「くらし応援キャンペーン」

【コープデリ宅配】

9月1回～11月4回の期間で実施しました。
1月度～3月度の期間では「安さチャレンジ」・
「ポイント山分け」「冷凍庫プレゼント」企画を
開催しました。



【店舗】

9月1日～12月1日の期間で実施しました。
「くらし応援年度末キャンペーン」も実施して、
CO・OP商品の「品質」と「利用しやすい価格」
をお知らせしました。
メーカー商品の値下げも行いました。

商品全体の取り組み



コープぐんま

商品の取り組み

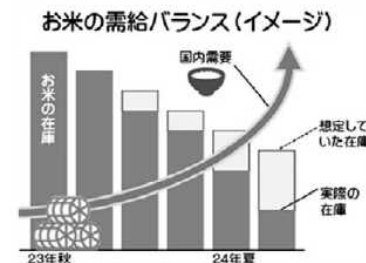
- 有機JAS認証の鶏卵を供給していただいている「農業生産法人 黒富士農場」を産直産地に指定し、「COOP産直 黒富士農場 オーガニックたまご」として6月24日から宅配で取り扱いを開始しました。



- 7月30日の「生協の日」には、宅配・店舗ともに生協で働く仲間に聞いた「いち推しアンケート」の掲載を実施しました。店舗では、7月30日の折込チラシでプロモーションを実施してポイントプレゼントを行いました。宅配では、アンケート上位商品のお知らせと組合員さんの声で改善した商品の特集に取り組みました。



- 全国的な米不足から計画通りの玄米の調達ができませんでした。加えて米の供給量が増えたために、商品の値上げと点数制限、抽選対応等が発生し、組合員さんにご迷惑をおかけする結果となりました。



2024年度 事業全体の概況



	実績	予算比(差) 計画比(差)	前年比(差)
総事業高	346億6,768万円	99.2% (－2億7,820万円)	97.8% (－7億5,908万円)
経常剰余金	6億8,273万円	225.3% (＋3億7,983万円)	57.1% (－5億1,285万円)
組合員数	35万7,767人	99.4% (－2,233人)	101.7% (＋5,873人)
出資金高	63億4,179万円	99.8% (－978万円)	101.4% (＋9,021万円)

※前年の総事業高には電気事業の供給高 5億1,379万円が含まれます。
この影響を除くと前年比99.2%、前年差－2億5,680万円となります。

■ 宅配事業の取り組み

供給高、経常剰余金

- 供給高(商品)は予算、前年を下回りました。
ウイークリー太田、前橋、富岡センターとダイレクト
宅配が予算を上回りました。
- 経常剰余金は、全ウイークリー事業所で計画を上回り、前年を下回りました。
デイリーは全事業所で予算を上回り、前年を下回りました。
ダイレクト宅配は予算、前年を下回りました。



	実績	予算比(差)	前年比(差)
供給高(商品)	239億5,217万円	99.3% (－1億6,409万円)	99.5% (－1億3,343万円)
経常剰余金	10億1,821万円	＋3億6,057万円	－2億7,515万円
(内)電気事業経常剰余金	1,743万円	＋124万円	－3,616万円

宅配事業の取り組み

組合員拡大

組合員拡大の達成月度は、4月度、7月度、12月度、1月度、3月度でした。



	実績	計画比(差)
全体 ※計画12,500人	12,142人	97.1%(－358人)
配送チーム	3,034人	82.3%(－652人)
営業チーム	6,526人	108.5%(＋512人)
委託(配送)	2,209人	78.9%(－591人)
委託(営業)	151人	計画なし

営業チームによる加入の約75%は次の3件でした戸別訪問での加入は813人、全体の約12%でした

	加入人数
イベント	2,344人
資料請求	1,459人
WEB	1,084人

- 宅配事業部所属の職場推進チームを3名体制でスタートしました。

	加入人数
11月～3月実績	222人(計画比111.0%)



コープぐんま

■ 宅配事業の取り組み

はじめてばこ（お届け2万人到達！）



はじめてばこお届け2万人到達セレモニーを群馬県庁で開催しました。
セレモニーと合わせて「はいはいレース」を開催し、50名の赤ちゃんが参加しました。



理事長から記念品が
プレゼントされました。



宅配事業の取り組み

利用をすすめる取り組み

多くの好評の声を頂きました



お得な「クーポンチラシ」
3月4回、6月3回、9月1回、
11月2回、1月4回



生活応援大感謝祭」
4月3回、5月4回、7月4回、
10月4回、3月1回



宅配委員会所属のブロック委員の
おすすめ商品を企画
9月2回・3回、
3月1回・3月2回、3月3回



コープぐんま

■ 宅配事業の取り組み

子ども交通安全教室

「子ども交通安全教室」を開催し、のべ100人の園児に参加していただきました。



ご協力いただいた
大胡第2こども園様
粕川幼稚園様
ありがとうございました！



宅配事業の取り組み

職場環境の改善とスキルアップの取り組み



- 配達コースの組み替えと適正化に取り組み、配達コースの効率改善をすすめました。
- 健康経営の観点から、月2回のノー残業日を設定し、残業時間の削減につなげました。

応対品質向上会議を月に1回開催して、ABC運動の取り組み状況や次月課題について協議をすすめました。副センター長と地域担当リーダーが参加して、センターのABC運動の推進と組合員応対の改善に取り組みました。

※ABC運動とは：A(あたりまえのことを)・B(ばかにしないで)・C(ちゃんとやる)を合言葉に
月度ごとにテーマを決めて、主に「地域担当10か条」の項目に沿って、全員が基本行動を身に付けていくための取り組みです。

■店舗事業の取り組み

供給高、経常剰余金

供給高(商品)は、98億779万円でした。
経常剰余金は、東久方店、昭和店、宮子店、みさと店が予算を上回りました。
宮子店、藤岡店が黒字、みさと店は前年よりも改善しました。来店人数は前年比97.4%と厳しい状況でした。



	実績	予算比・差	前年比・差
供給高(商品)	94億2,024万円	98.6%	98.3%
経常剰余金	－3億4,983万円	－3,912万円	－2億7,406万円

■店舗事業の取り組み

寺尾店リニューアル



11月22日(金)寺尾店リニューアル！

冷凍商品の強化、フルセルフレジの導入、床や照明、駐車場などを全面改装しました。



オープニングセール	計画比	前年比
第一弾	117.3%	197.6%
第二弾	103.5%	127.5%



■店舗事業の取り組み

店舗別の取り組み



みさと店は、ショッピングモールとしての魅力を上げるため、「ハルナモ」のチラシを作成

中野店は、集客の取り組みとして「じゃんけん大会」や「健康チャレンジスタンプラリー」など、お楽しみ企画を開催



藤岡店ではフルセルフレジ導入！



■店舗事業の取り組み



コープぐんま

コープデリのファンを増やすために

- 2023年度に実施した店長の「みやぎ生協研修」を参考に毎週土曜日に有人試食(もぐもぐタイム)を実施しています。組合員さんから好評の声をいただいています。
- 5月から宮子店と寺尾店で「キッズカード」企画の実験を開始し、好評なことから全店で企画の導入をすすめました。子育て世代の来店者が増えるとともに参加しているご家族から好評の声をいただいています。



■ 福祉事業の取り組み



コープぐんま

総事業高、経常剰余金

利用人数計画と利用高を上げる
施策に取り組み、総事業高、経常
剰余金とも予算達成できました。



	実績	予算差	前年差
総事業高	1億5,335万円	+503万円	+2,002万円
経常剰余金	-3,913万円	+2,054万円	+1,901万円

福祉事業の取り組み



コープぐんま

事業所の取り組み

● 居宅介護支援

- ・ケアマネージャーが欠員のため利用人数計画を下回りましたが、既存利用者のプラン作成を重視して取り組みました。
- ・12月2日に主任ケアマネージャーが採用でき、**事業継続が可能になりました。**



	利用登録 人数実績	計画比 (差)
居宅介護	282人	48.6% (－404人)

● 訪問介護

	利用登録 人数実績	計画比 (差)	サービス 提供時間	計画比(差)	利用回数	計画比(差)	1時間単価	計画比
訪問 介護	1225人	101.6% (＋19人)	10,881 時間	108.3% (＋731時間)	13,291回	111.3% (＋2,159回)	4,006円	111.3%

ヘルパー人員不足の状況でしたが、**介護記録タブレットの導入**によりサービス提供責任者業務が軽減でき、より良いサービスの提供につながりました。
引き続きヘルパーの採用が課題となります。

福祉事業の取り組み



コープぐんま

事業所の取り組み

● デイサービス

総利用回数計画を大きく超過できたことで日当たり利用人数が3月度で24.0人/日まで到達できました。

笑顔のデイサービスを目指し、おやつレク、外出レクの楽しい企画、機能訓練の工夫により利用者満足度が高まった事で外部利用者が3名から8名に増加しました。

2024年6月12日赤堀しょうぶ園への外出レクの様子



	利用登録 人数実績	計画比(差)	総利用 回数	計画比(差)	一人当たり単価	計画比(差)
デイ サービス	388人	99.5% (-2人)	5,770回	118.3% (+892回)	121,874円	121.9% (+21,874円)

● サービス付き高齢者向け住宅

4月からの生活支援サービス費の設定により5名の退去者が発生しその後入居率が低下しました。そのため入居者紹介サービス利用、入居案内チラシを作成し新聞折込と宅配での配布を行うなど広報活動を強化しました。

	入居人数	計画比(差)
サービス付き 高齢者住宅	397人	87.1% (-59人)

その結果 入居率が高まり、3月で40室が満室、入居率100%となりました。



保障事業の取り組み

共済推進

宅配・店舗業態と協力して積極的な推進活動をおこないましたが、予算比92.7%（宅配は92.1%、店舗95.6%）で未達成でした。
共済保有件数は、127,071件で予算比99.6%、予算差－462件、前年比101.3%、純増1,362件と予算を下回りました。

CO・OP共済 (たすけあい・あいぶらす・ずっとあい・学生総合共済)	実績	予算比
新規加入件数	11,444件	92.7% (宅配92.1%・店舗95.6%)
共済保有件数 (3月20日時点)	127,071件	99.6% (予算差－462件・前年比101.3%)



コープぐんま

■保障事業の取り組み

宅配業態との推進

宅配の苦戦により、下期から、欠員対策も含めた推進体制の変更と推進強化に向けた人事異動、共済部からの支援企画を実施しました。

現場の声を推進に活かすためにリーダー会議を開始し、先進生協から学んだ情報連携数増加の為の「アプローチ動画」を、リーダー3名で3パターンを作成しセンターで共有しました。

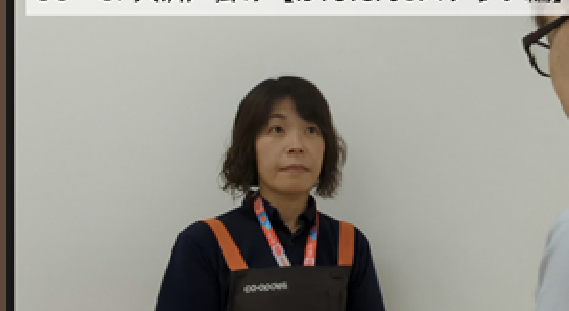
CO・OP共済声掛け【初級】



CO・OP共済声掛け【スタンブラリー編】



CO・OP共済声掛け【かんたん3ステップ編】





■保障事業の取り組み

店舗での推進

●店舗職員による「お知らせ活動」を全店舗で実施するなど業態と共済部の連携、コープ共済連の支援による相談会等の成功で、前年を超える実績となりました。

	実績	計画比(差)
キャンペーン実績	440件	106.0% (+64件)

●寺尾店リニューアルイベントを、共済部や他店舗からの応援と共済連の支援により開催しました。
3日間で約300名のお子さんにご参加いただきアンケート回収189枚、イベント時の即日加入は3日間で実績7件、条件8件の獲得に繋がりました。
イベントの様子は共済部として、はじめて「ほぺTOWN」にも投稿しました。



コーすけとの撮影会やお菓子すくいなどを開催！

■保障事業の取り組み

全国交流会（札幌市）

- 全国交流会が札幌で開催され、**宅配部門で全国第3位**の表彰を受けました。参加した全国の生協から取り組みを学び、交流を深めました。コープさっぽろの店舗も視察し、店舗での推進について、現場でも学びました。FP全国交流会では、個人相談部門で久下FPが**全国第1位**となり表彰されました。**久下FPは4年連続全国第1位**です。



宅配部門全国3位！



個人相談部門
4年連続全国1位！

■組合員活動の取り組み



コープぐんま

組合員活動（ブロック委員会）

スマイルコットは全ブロックで開催され、地域の特徴を活かした学習や活動・交流が実施できました。



	開催回数	参加人数
ブロック企画	99回	1,097名
スマイルコット	196回	1,453名



毎月ブロック委員会で「商品のおすすめ動画」を作成しYouTubeにアップして視聴していただくなど、SNSを活用した商品の普及活動を広げました。

店舗では「商品おすすめ動画」を該当商品付近で放映することで商品アピールを進め、該当商品利用が大幅に伸長するなど商品普及につながりました。



■組合員活動の取り組み



コープぐんま

たべるたいせつ（食育）



JA利根沼田
レタス収穫体験



下田農園
田植え体験



JA嬭恋村
キャベツ
収穫体験



下田農園
稲刈り体験



埼玉産直センター
収穫祭



カネコ種苗
たねやさんの
畑探検



JA甘楽富岡
下仁田ねぎと
大根収穫体験



JA佐波伊勢崎
ブロッコリー
アレッタ収穫体験

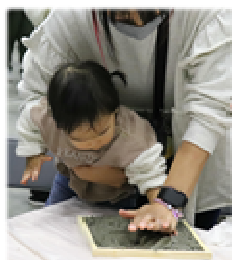
群馬県内のJAや
生産者にご協力いただき
収穫体験を開催

■組合員活動の取り組み



コープぐんま

コープぐんまフェスタ2024



コープぐんまフェスタ2024
「つながれ★笑顔の輪」
3,500名が来場されました



社会貢献の取り組み



コープぐんま

ネイチャークラブ（環境活動）

27組79名がネイチャークラブメンバーに登録されました。
※取り組みにはネイチャークラブメンバー以外も参加できます。



●森林コース

5月25日(土) 春の森林づくり

7月27日(土) 夏の森林づくり(木工体験)

10月12日(土) 秋の森林づくり(間伐体験)



●海コース

6月29日(土) 海を学ぼう学習会

9月28日(土) ビーチクリーン



●川コース

7月31日(水) 水辺のがっこう

10月26日(土) ヤマメの卵配布会

2月22日(土) ヤマメの放流会





コープぐんま

社会貢献の取り組み

平和の取り組み



ピースアクション in オキナワ

組合員2名が参加。



ピースアクション in ヒロシマ

小中学生5名、高校生
ボランティア2名、
職員2名が参加。



ピースクラブ

小中学生7名が参
加して、全5回の
取り組みに参加。
ピースクラブ
ニュースを作成し
ました。



予科練平和記念館 バス見学会

22名が参加。

社会貢献の取り組み



コープぐんま

くらしのたすけあいの会

- くらしのたすけあいの会(家事援助活動を中心とした有償ボランティア)では、432回・1965時間の援助活動を実施し、スキルアップ研修も行いました。

	活動回数	活動時間
実績	432回	1,965時間

※くらしのたすけあいの会の実績は2月20日までのものです

くらしのたすけあいの会とは…
普段のくらしの中で「組合員
同士で助け合う」という考え方
をもとに、家事援助活動を行う
ボランティア活動です。



一緒にボランティア活動を行う
活動会員を募集しています！

スキルアップの研修もあります

社会貢献の取り組み



コープぐんま

子ども食堂／子育て支援

● 県内子ども食堂10団体へ最長3年間の食材購入支援を実施しました。
「2024年度子ども食堂への新規支援」は、14団体から応募いただき、社会貢献委員会による検討と理事会承認を経て5団体へ支援を行うことになりました。

● 子育て支援の取り組みとして子ども食堂の「ほぺたん広場」は4拠点で延べ963名が参加、子育てひろば「かんがる〜む」は宮子店を拠点に延べ115名が参加しました。



	ほぺたん広場	かんがる〜む
参加人数	963名	115名

社会貢献の取り組み



コープぐんま

食料支援の取り組み

- 前橋市こどもフードパントリー事業へ協力しました。
コープデリグループの桶川流通センターでお届けできなくなった商品を前橋市へ提供しました。
- 米不足支援としてコープぐんまより600kgのお米を寄付しました。支援先は、行政の援助が届きにくい県内の母子生活支援施設・DVシェルター・女性支援施設・児童自立支援施設・フードバンク・子ども食堂です。また、12月にも250kgの寄贈米をいただき、みどの福祉会などを通じて行政の援助が届きにくい県内の母子生活支援施設やフードバンク・子ども食堂などの支援に役立てていただきました。
- 全店と3センター（富岡C・北部C・沼田C）のフードドライブで累計2,210kgの食品をお預かりし、フードバンクや社会福祉協議会などにお届けしました。



社会貢献の取り組み



コープぐんま

事業と組合員活動が連携した取り組み

産地とのパートナーシップを深め、持続可能な生産と消費に貢献する取り組みを進めました。
4つのプロジェクト「ハッピーミルクプロジェクト」「美ら島応援もずくプロジェクト」「佐渡トキ応援お米プロジェクト」「お米育ち豚プロジェクト」に継続して取り組みました。



5月27日～29日 沖縄県伊平屋島



6月28日・29日 新潟県佐渡市



10月7日・8日 岩手県花巻市

交流会にはそれぞれ職員2名と組合員理事が参加しました

社会貢献の取り組み



コープぐんま

コープぐんま奨学金制度

- ひとり親家庭の高校生を対象とした奨学金制度は2年目を迎え、奨学生は34人になりました。

- 奨学金制度を支える「奨学金応援サポーター」は1,532人になりました。

ご協力
ありがとうございます！

社会貢献の取り組み



コープぐんま

募金のご報告

2024年度(2024年3月21日～2025年3月20日)
募金はこのように使われました。たくさんのご協力ありがとうございました。

募金名	2024年度募金額	ご報告
ユニセフ(一般募金)	1,026,769円	現金やポイントで897,515円、年末に各店舗で行ったハンド・イン・ハンド募金で129,254円をお預かりしました。日本ユニセフ協会へ(2025年4月に)893,900円を送金しました。日本ユニセフ協会を通じて、世界中の恵まれない子どもたちへの支援に活用されます。
ふくしま復興応援募金	716,397円	福島県「東日本大震災ふくしま子ども寄附金」と福島県「災害復興寄附金」へ(2025年3月に)2024年度繰越金と合わせて各20万円を送金し、残りの金額は2025年度に繰り越しました。
平和募金	300,348円	昨年に続きピースアクションinヒロシマへの旅が開催され5名の子どもを代表派遣しました。ピースアクションinヒロシマ、ピースアクションinオキナワの代表派遣の支援として690,210円を活用しました。
ユニセフ (指定募金・ ハッピーミルクプロジェクト)	391,322円	コープぐんまでは337万8,064本の牛乳が購入され 寄付金は67万5,613円となり、コープテリ連合会を通じて日本ユニセフ協会(コートジボワール共和国指定募金・アフリカ栄養危機緊急募金)に送金されました。宅配で現金やポイントでお預かりした391,322円は、別途日本ユニセフ協会へ送金を予定しています。
奨学金応援サポーター募金	8,359,678円	第1期・第2期奨学生34名へ合計408万円を給付しました。奨学金応援サポーターは1,532名の方に7,215口の登録をいただいています。
令和6年能登半島地震 緊急支援募金 (2024/1/8～2024/3/31)	2,316,328円 (総額27,161,956円)	2023年度から2024年度にかけて行われた「令和6年能登半島地震緊急支援募金」は、総額27,161,956円となり、コープテリ連合会を通じて送金しました。石川県・富山県・新潟県などの被災地域の自治体を通じて被災された方々への義援金及び被災地の復旧活動費および産直産地の復旧支援に活用しました。
台湾東部沖地震 緊急支援募金 (2024/4/9～2024/5/12)	1,538,686円	コープテリ連合会を通して日本赤十字社本社へ送金しました。台湾赤十字組織が行う救援・復興支援活動および防災・減災事業等に活用されました。7月31日に日本赤十字社本社にて贈呈式を開催しました。
令和6年能登半島地震及び 能登豪雨災害緊急支援募金 (2024/9/27～2025/1/12)	10,174,936円	2025年1月12日までの募金9,601,048円をコープテリ連合会を通じて送金しました。被災者への義援金をはじめ被災地の復旧活動費用として活用されます。また、一部はコープぐんまが行う活動の取り組みとして活動させていただく予定です。

社会貢献の取り組み



コープぐんま

社会貢献の取り組み

- 2023年度決算にもとづく社会貢献活動として、上毛新聞厚生福祉事業団「愛の募金」群馬県立小児医療センター、佐藤交通遺児福祉基金、群馬ひまわりの会へ総額500万円の寄付を行いました。



- 2024年1月から5月に行った「はがき・切手回収キャンペーン」では、組合員から預かった未使用切手をブロック委員・組合員理事・職員で仕分け作業ボランティアを行い、仕分け作業にかかる費用を抑えて換金することができました。その寄付金を群馬県協同募金会（赤い羽協同根募金）へ贈呈しました。組合員の皆さまより集められた金額は217万3,717円となりました。



社会貢献の取り組み



コープぐんま

未来つながり助成

21団体からご応募いただき、社会貢献委員会による検討と理事会承認を経て10団体に総額100万円の助成を実施しました。



10月24日(木)
贈呈式および交流会を開催

団体名	所在地	活動内容
NPO法人 エコ・ボランティア	前橋市	ホタルが生息する小川の管理・整備を行い、親子一緒に学ぶホタルの学習会や見学会を開催している。
NPO法人 きらきら	前橋市	放課後等デイサービスと児童発達事業を運営。子育て相談や手話教室・交流会を実施。
NPO法人 リデザインマネージメント 研究所	前橋市	「LIFORT」プロジェクトとして、空き家を学生自身で改装し、地域整備・交流も行いながら、学生が住みたくなる空間づくりを一緒に行っている。
NPO法人 iitoko	高崎市	障害を持つ子どもや不登校の子ども及び保護者が参加できる場づくりを行っている。
いこいの家 庵	大泉町	高齢者の居場所づくりを毎週開催。
Cafe あじさい	渋川市	地域の人の居場所となり、軽食を取りながら手芸等を行っている。
たまむら龍神の風	玉村町	玉村町名伝説をもとにした野外劇「天翔ける龍」の伝承を行っている。
いぬねこ組	前橋市	保健所からの依頼でミルクボランティアや個人からの保護の相談やお手伝いを行っている。
妙義Dreamプロジェクト 実行委員会	富岡市	地域おこしとして、アートトラック・妙義山イルミネーションフェスティバルを開催。
里山ガーデン	沼田市	環境美化、アサギマダラを呼び込み、市内の生態観察の場づくりを行っている。

社会貢献の取り組み



コープぐんま

見守り活動（事例一覧）

いつ	どこで	どうしていた	対応方法	結果
6月	組合員さんご自宅	前回お届けした商品が残っていた。	自治体の社会福祉課へ連絡した。	ご家族の自宅へ行っていた。
6月	組合員さんご自宅	前回お届けした商品が残っていた。	自治体の社会福祉課へ連絡した。	無事が確認された。
8月	組合員さんご自宅	前回お届けした商品が残っていた。	自治体の社会福祉課へ連絡した。	お亡くなりになった。
8月	組合員さんご自宅	前回お届けした商品が残っていた。	自治体の福祉課へ連絡した。	無事が確認された。
10月	組合員さんご自宅	チャイムを押したら返事がなく倒れていた。	救急車を呼んだ。	お亡くなりになった。
10月	組合員さんご自宅	前回お届けした商品が残っていた。	自治体の社会福祉部へ連絡した。	無事が確認された。
10月	組合員さんご自宅	前回お届けした商品が残っていた。	自治体の社会福祉課へ連絡した。	次の配達には在宅していた。
10月	組合員さんご自宅	前回お届けした商品が残っていた。	自治体の社会福祉課へ連絡した。	次の配達には在宅していた。
2月	組合員さんご自宅	前回お届けした商品が残っていた。	自治体の社会福祉課へ連絡をした。	無事が確認された。



コープぐんま

組織全体の取り組み

広報活動の取り組み



プレスリリースの回数を増やすだけでなく、マスコミとの交流から情報提供を行いました。上毛新聞やFMぐんまなど**マスメディアへの露出を高めました。**

平和活動「ピースクラブ」では、上毛新聞「子ども新聞 週刊風っ子」7月28日発行号で3ページにわたる特集記事として掲載いただきました。

また、Instagramを活用して店舗・宅配・福祉事業の情報発信を積極的に行いました。



フォローお待ちしております！

■組織全体の取り組み



コープぐんま

職員のまなび

●サイバー攻撃対策として、引き続き職員の教育をすすめました。訓練用の攻撃メールを活用する教育も定期的に行いました。



●入職後2年目3年目の正規職員を対象に職員の「仕事のやりがい向上」「理念への共感」「離職率の低減」を目的にした学習・交流会「もっと知ろう！コープの魅力発見会」を開催しました。

日本生活協同組合連合会ブランド戦略本部より講師を招いてのコープ商品の学習や、組合員理事による組合員活動の学習など実りある学習・交流会となりました。



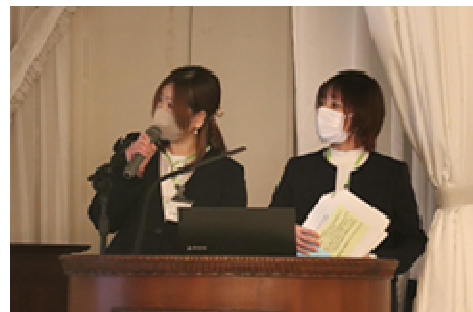
■ 組織全体の取り組み



コープぐんま

事例発表会

全業態参加の事例発表会を2025年2月8日(土)に開催しました。
2025年度の新入職員を含む役職員224名が参加しました。



■組織全体の取り組み



コープぐんま

多様な働き方、ワークライフバランスの推進

●仕事と育児・家庭の両立を支援してきました。2022年の法改正を機に男性の育児休職取得者が増加しています。また、子の看護休暇や育児時短制度の利用者も増加しています。

	男性の育休取得人数 (日数)	子の看護休取得人数 (日数)	育児時短 取得人数
2023年	6人(23.2日)／8人中	14人(55.5日)	8人
2024年	7人(36.3日)／8人中	14人(54日)	11人



●2024年3月の幹部会議にて、「社員が知っておくべきLGBTQの基礎知識」をテーマとした講演会を行い、性の多様性に対する理解を深めてきました。



■ 組織全体の取り組み



コープぐんま

健康経営宣言



健康経営とは、職員が心身ともに健康でやりがいをもって働くことが「組織の活性化」「生産性の向上」に不可欠なものとして、健康保持・増進の取り組みを「経営課題」として捉え、具体的な施策を戦略的に実践することです。

コープぐんまでは「健康経営宣言」のもと取り組みを進めてきましたが、その取り組みが評価され、**2025年度の健康経営優良法人に認定**されました。

第70回通常総代会 【第2号議案】

2025年度 事業計画・予算提案の件



■ 国際協同組合年



コープぐんま

2025年は国際協同組合年です

国連は1957年から毎年「国際年」を設け、共通の重要テーマに対する呼びかけや対策を促進しています。

2025年は「国際協同組合年」と定められ、協同組合の重要性が再評価されています。

日本でもこの機会を活かし、協同組合の認知度を高めることが求められています。

協同組合を学び、実践し、発信することで、地域のつながりを広げるチャンスです。

学び、実践し、発信する3つのステップを通じて、協同組合の価値を広めていきましょう。



国際協同組合年

協同組合はよりよい世界を築きます

2025年度 事業全体の目標

	予算	前年差	前年比
総事業高	342億6,508万円	－4億259万円	98.8%
人件費	34億4,525万円	＋1億1,753万円	103.5%
物件費	48億7,980万円	＋1億3,766万円	102.9%
経常剰余金	2億2,517万円	－4億5,756万円	32.9%
組合員数	365,000人	＋7,233人	102.0%
出資金高	64億4,500万円	＋1億320万円	101.6%

2025年度 事業全体の目標

	総事業高予算	前年比	経常剰余金予算	前年差
宅配	241億9,449万円	98.4%	6億1,242万円	－4億578万円
店舗	96億5,313万円	99.7%	－3億6,198万円	＋1,215万円
共済	2億2,243万円	90.8%	3,129万円	－3,474万円
福祉	1億6,389万円	106.8%	－4,375万円	－461万円
合計	342億6,508万円	98.8%	2億2,517万円	－4億5,756万円

※合計には本部その他が含まれています

※宅配事業は2025年度から夏季一斉休業を行います

宅配事業

宅配事業の方針（1）

- 発行人数・利用人数の確保を最優先課題として事業伸長を取り戻します。
2025年度から夏季一斉休業が行われるため、前年比・前年差でマイナスになりますが、実営業日平均で前年度から伸長することを目指します。

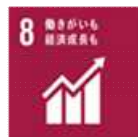
- EC70%実現に向けて、2024年2月にリリースした「新宅配アプリ」の活用をおすすめします。より便利なご利用方法をお知らせし、更にアプリの利用を増やします。



- コープデリクーポンは利用率アップと新規利用者獲得を目標に毎週実施し、利用を促進します。
また、新規子育て層の利用定着を目指し、子育て層に向けたコープデリクーポンを検討します。



宅配事業



コープぐんま

宅配事業の方針（2）

- 営業チームの生産性を向上し、組合員拡大専門部署としての役割を強化します。その実現に向けて資料請求・イベント・戸別訪問による拡大割合を明確にして取り組みます。
- 組合員拡大に関する教育を計画的に実施して職員のスキルアップに取り組みます。委託会社スタッフのスキルアップも協力しながらすすめます。
- コープデリグループ統一で、夏季一斉休業を実施して「働き方改革」をすすめるとともに、熱中症等による健康リスクの低減をすすめます。



宅配事業



コープぐんま

宅配事業の方針（3）

- 「安全運転」はすべてにおいて最優先に位置付けて対策を講じます。職場で定期的に学習会を行い、過去の重大事故の教訓を共有していきます。安全運転車載器「無事故プログラムドラレコ」の活用により、安全運転行動を向上させ、事故を抑制します。また、危険を予知し警告を鳴らすBP-BOX の活用で、人身事故発生を防止します。
- 環境対策、CO2削減に向けてEV車両の導入の検討をすすめます。まずは営業車両のEV化をすすめ、トラックはコープデリグループの実験導入により判断をしていきます。
- 2024年度下期より開始した、子ども交通安全教室を開催します。保育園児、幼稚園児への交通安全教室を通じて、地域・社会貢献につなげていきます。



■ 宅配事業



コープぐんま

宅配事業の方針（４）

- 2025年10月から宅配センターの受電業務をコープデリ連合会を通じてベルシステム旭川コールセンターに業務委託を行い、コープデリ連合会の統一運営に参加することで組合員サービスレベルのアップと宅配事業の生産性の向上につなげます。
現在の受電業務をしている職員は、他の業務を含めて継続勤務していただけるよう丁寧に対応をすすめます。



- 宅配センターのオペレーションを統一して生産性の向上と働き方改革をすすめます。
- 損益改善タスクを立ち上げて生産性の向上と2026年度の経費削減に向けた検討をすすめます。

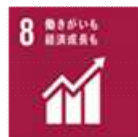
■店舗事業

店舗事業の方針（1）

- 売り場スタンダードレベルの取り組みを継続的にすすめます。
あわせて全体での対策と個店対策を並行して取り組み、事業改善につなげます。店舗毎のポジショニングを明確にして対策を講じます。対策店舗は、**中野店**、**みさと店**、**藤岡店**、**寺尾店**とします。
- 中野店は、事業環境が厳しい状況であることから、2025年度に**特別対策店舗に指定**して損益改革に取り組みます。2025年度上期の経営状況から店舗存続の判断を行います。
- 「みさと店」は、2023年3月理事会で確認した修正計画を基本に供給高のアップと損益の改善を目指します。2025年度の直接剰余計画の達成を目指します。
- 藤岡店、寺尾店は、供給規模から店舗事業全体に与える影響が大きいため、供給高の前年伸長による損益改善を課題に対策を講じます。



■ 店舗事業



コープぐんま

店舗事業の方針 (2)

- 価格対応として、平日の独自チラシと週末のぐんま単独でのチラシを継続し、日替わり商品を中心にお求めやすい価格でご提供します。また、週末の「スーパーセール」「周年企画」などを計画し、商品の魅力発信に加えて価格面での訴求を強化します。
- 2025年4月リリースのほぺたんアプリの活用をすすめて、機能追加を積極的にアピールして利用者の拡大につなげます。
- フルセルフレジや電子棚札、自動発注(AI 発注)等のITシステムの導入を検討します。また、スライド棚、備品や什器、消耗品についても検討を進めます。
- 店舗で働く職員がコープ商品を積極的に利用して商品を学ぶよう取り組みます。また、自らの言葉で商品の特徴をお知らせする場として、有人試食に取り組みます。



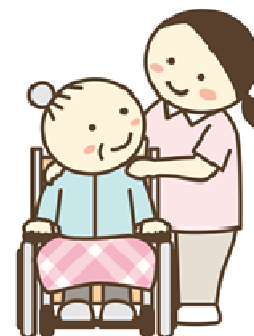
福祉事業



コープぐんま

福祉事業の方針（1）

- 居宅介護支援: 2名体制を維持してケアプラン件数60件を目標に取り組みます。特定事業所加算Ⅲの取得をすすめて単価アップによる損益改善を目指します。



- 訪問介護: 非常勤ヘルパー(土日活動)の採用をすすめ安定的なサービスの提供と新規利用者受け入れができるように体制を整えます。介護記録タブレット「ケアウイング」の機能を更に取り入れ、ヘルパー及びサービス提供責任者業務の効率化による生産性向上課題に取り組みます。



※特定事業所加算Ⅲ: 居宅介護支援の分野で高度な専門性を持つ人材が配置し、中重度の利用者や対応が難しいケースに積極的に取り組み、質の高いケアマネジメントを提供する事業者に対して付与される評価加算です。

福祉事業



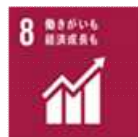
コープぐんま

福祉事業の方針（2）

- 通所介護：登録の利用実績で 25.0 人/日を目標に取り組みます。総利用人数確保とサービス提供計画通りに利用いただけるように利用者・職員のコミュニケーションを大切にレクリエーションのブラッシュアップを重ね「笑顔あふれるデイサービス」をつくりあげ、利用者満足向上につなげます。また科学的介護情報システム LIFE と「生協 10 の基本ケア」を併せて推進していきます。
- サービス付き高齢者向け住宅：居室40室中38室入居、入居率95%の維持に努めます。入居者サービスの活用と近隣の居宅介護支援事業所を中心に入居紹介事業者も活用し入居に繋がめます。



■ 共済事業



コープぐんま

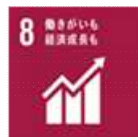
共済事業の方針（1）

2025年度は、コープ共済連の柱施策【**全国モデル生協**】に参加して、新規加入10,498件、世帯加入率17.0%（24年度現在15.8%）への到達を目指します。

全国モデル生協: コープ共済連に所属する生協の中で、高い目標を持ち、成功事例を全国の生協へ発信する役割を担います。2025年度は下の7生協に加えて、コープぐんまが選定されました。



■ 共済事業



コープぐんま

共済事業の方針（2）

- ライフプラン活動を強化します。組合員が共済制度（たすけあい活動）と商品（保障内容）の良さを理解し、共済の輪が広がるように共済部と総合企画室が連携して活動を広げます。大学生協との連携では、FP（ファイナンシャルプランナー）による大学生への講演の実現に向けて調整をすすめます。

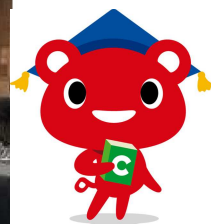
全国の大学でのライフプラン活動の様子



大東文化大学
生活クラブ共済連
FP藤井智子様への講演
参加人数：2日間合計 43名



高崎経済大学
共済研修の様子



高崎経済大学
学生が作成した
給付ボード

学生総合共済の
キャラクター
タスロー



組合員活動



コープぐんま

組合員活動

- 様々な企画などを通じて、組合員参加の輪を広げます。
- ブロックと店舗で協力した「イベント」を企画して店舗を盛り上げる活動を自主企画としてすすめます。
- ブロック委員公募制は4年目を迎えます。ブロック委員の増員とブロック活動(委員)を支援して地域で安定して組合員活動が取り組めるようにします。
- 「助成団体」とのつながりを大切にして、継続的なつながりによって地域貢献に取り組めます。



■社会貢献



コープぐんま

事業と活動が連携し 「コープの総合力」を発揮します。

- 持続可能な生産のために、引き続き生産者を支援する活動や生産環境に配慮した商品の販売を進めます。商品の利用を通じた社会貢献の4つのプロジェクトに継続して取り組みます。「美ら島応援もずくプロジェクト」「佐渡トキ応援お米プロジェクト」「お米育ち豚プロジェクト」の産地交流・研修会に参加します。「ハッピーミルクプロジェクト」は組合員に広報をして取り組みの輪を広げます。
- 食育、健康づくり支援、子育て、高齢者支援、貧困問題、災害復興(復旧)など、くらしや社会的課題への対応を地域の状況に応じてすすめます。
- コープぐんま奨学金制度は3年目を迎えます。第三期奨学生の選定と支給に取り組みます。組合員へ制度を丁寧にご案内することでサポーターの参加人数を増やしていきます。また財団の立ち上げについて検討をすすめます。
- 平和の大切さを次世代に継承するために平和の旅や学習会など、「知り、学び、伝える」機会を広げます。

■ 組織全体



コープぐんま

組織全体の方針（1）

- 食品安全・品質保証関連情報の収集と発信の運用を定着させるとともに、内容の充実を図ります。商品検査センターホームページから、「食」に関する情報やお役立ち情報や商品Q＆Aの情報を発信します。
- 仕入れ・販売者として、お取引先様との協力・協同のもと、食品安全・品質保証のレベル向上に取り組み、食品安全・品質保証委員会への参加、全体会への事業所責任者参加を促します。

信頼を高める商品・サービスの安全性確保に取り組みます

■組織全体



コープぐんま

組織全体の方針（3）

- 群馬県生協連を中心とした県内生協、特に購買生協との活動・事業の協同の取り組みを追求します。（平和の取り組み、居場所づくりなどの地域づくり、商品事業を通じた地元農業・産業支援等）。また大学生協との交流会についても実現に向けて調整します。
- 自治体訪問を継続し、コープぐんまの事業と活動のお知らせと地域の情報や課題についての情報共有や連携した取り組みを継続します。包括連携協定締結をすすめ、自治体との強固な関係性を築きます。



群馬県及びグループ内外でのさまざまなつながりづくりを進めます。
多くの組織や協同組合との連携を進め、将来展望を切り開き、組合員と地域社会への貢献を果たします。

■ 組織全体



コープぐんま

組織全体の方針（４）

- 食料・農業問題について、JA群馬中央会、JA全農ぐんま、県内各JA、との人的交流、商品や農業収穫体験等、交流を継続して関係作りを進め、組合員の学ぶ機会づくりや地産地消の販売促進等の取り組みをすすめます。
- 2025年9月6日(土)に「コープぐんまフェスタ」の開催を予定して準備をすすめます。組合員や連合会生産者、コープぐんまの業態含め全体企画として進めます。
- 2026年のコープぐんま70周年に向けて準備を進めます。



群馬県及びグループ内外でのさまざまなつながりづくりを進めます。多くの組織や協同組合との連携を進め、将来展望を切り開き、組合員と地域社会への貢献を果たします。

■組織全体



コープぐんま

組織全体の方針（5）

- 仕事と育児・家庭の両立を支援し、「次世代育成支援行動計画」「女性活躍推進行動計画」の達成を目指します。
- 職場でのハラスメント防止に向けて、全職員を対象とした学習に取り組めます。職場でのハラスメントを根絶し、すべての職員が安心して働ける環境を実現します。
- コープぐんまでは「健康経営宣言」を行い、様々な取り組みを進めています。 職員の健康推進のため「健康経営優良法人」の継続認定を目指します。



多様な働き方、ワークライフバランスを推進し、
働きやすく、働き続けられる職場づくりを目指します

■ 組織全体



コープぐんま

組織全体の方針（6）

- 職員割引制度は年4回取り組めます。チラシやポスターを活用し、制度を広く職員に知らせるとともに、利用高の向上につなげます。
- 新卒採用者を対象とした「奨学金返済支援制度」を2025年度から導入します。制度導入時の配慮措置とし、2021年度新卒採用職員までを支援対象とします。
- LGBTQ含めた性自認・性的指向問わず、誰もが尊重され、不安なく働き続けられる職場環境の整備を進めるため、2025年度より福利厚生に関する諸制度の適用対象を「異性同性を問わず事実上婚姻と同様の関係にある者とその家族」に拡大します。「多様性が尊重され、それぞれの個性や能力に応じて活躍できる職場づくり」を推進していきます。

福利厚生の拡充と多様性尊重の職場環境整備を進めます。

第70回通常総代会
【第3号議案】
役員報酬決定の件

役員報酬決定の件

役員の間年報酬は総額の上限を設定して支給します

理事・監事それぞれの年間報酬総額の上限は下記の通りとします。

理事・監事とも前年と同じ金額となります。

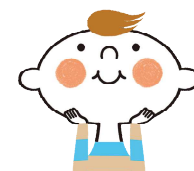
理事(22名)	6,300万円
監事(5名)	490万円

1. 役員報酬は、定款第26条にもとづき、理事の報酬と監事の報酬を区分して報酬総額の上限を設定し、総代会にて承認を得ることになっています。
2. 各理事の報酬額は、役員報酬に関する規則にもとづき、役員人事委員会の答申を受け、理事会が決定します。
3. 各監事の報酬額は、役員報酬に関する規則にもとづき、監事会が決定します。

通常総代会のご案内

■ 日時 6月11日(水) 10時30分～12時40分(予定)
(受付開始 9時45分～)

■ 場所 ロイヤルチェスター前橋
会場名 アルハンブラ



● 受付の混雑が予想されますので、
時間に余裕を持ってお越しください。

※会場への案内図は、5月2日発送予定の
資料をご確認ください。



用語説明

決算	けっさん	一定期間における収益と費用の計算により損益を求め、決算日時点における資産、負債、純資産の状況を確定する手続きです。	3
経常剰余金	けいじょうじょうよきん	すべての業務で得た利益のこと。一般に言う経常利益のこと、事業剰余金に事業外収支を加えたものです。	3
当期剰余金	とうきじょうよきん	今年度に生み出した利益を会社内部に積み立てたお金のことで、「内部留保」とも呼ばれます。	3
繰越剰余金	くりこしじょうよきん	使い道を決めずに次年度に繰り越された剰余金です。	3
任意積立金	にんいつみたてきん	総代会の決議により目的を決めて積み立てたお金です。	3
任意積立金取崩額	にんいつみたてきんとりくずしがく	任意積立金から取り崩して使用した金額です。	3
未処分剰余金	みしよぶんじょうよきん	まだ使途、目的等が特定されていない剰余金です。	3
法定準備金	ほうていじゆんぴきん	生協法によって積み立てることを義務づけられている準備金です。	4
固定資産再評価等積立金	こていしさんさいひょうかとうつみたてきん	昭和25年の資産再評価法により、動産・不動産・その他の固定資産の再評価額と簿価との差額を積み立てたものです。	4
有機JAS	ゆうきじゃす	農薬や化学肥料などの化学物質に頼らないことを基本として自然界の力で生産された食品を表しており、農産物、加工食品、飼料、畜産物及び藻類に付けられています。	8
オーガニック	おーがにつく	有機と同じ意味です。農薬や化学肥料に頼らず、太陽・水・土地・そこに生物など自然の恵みを生かした農林水産業や加工方法のことです。	8

用語説明

ウイークリー	ういーくりー	週1回決まった曜日・時間帯にご自宅の玄関先やご指定の場所まで、ご注文いただいた食材や日用品などの商品をお届けするコープぐんまの仕組みです。	10
デイリー	でいりー	栄養バランスを考えたお弁当や調理済みのおかず、夕食の主菜・副菜に便利なカット済みの食材がセットになったミールキットなど、健康的な食生活をしっかりとサポートする商品を配達するコープぐんまのサービスです。月曜日～金曜日の週3回以上、舞菜（お弁当・調理済みのおかず）、ミールキットのいずれかのご注文で利用が可能です。	10
ダイレクト宅配	だいいくとたくはい	一般的な宅配サービスを使って、直接組合員宅（又はご指定先）に、産地や製造メーカーなどから商品をお届けするコープぐんまのサービスです。	10
職場推進チーム	しよくばすいしんちーむ	お勤め先でコープデリをご利用いただくことを目的とした職場訪問に特化した営業職員のチームです。	11
はじめてばこ	はじめてばこ	上毛新聞社様が主催の“子育て応援支援プロジェクト”です。コープぐんまが特別協賛企業として、赤ちゃんが生まれた群馬県内のご家庭に、ありがとうの気持ちを込めて『はじめてばこ』をお届けしています。群馬県の特徴をデザインした『はじめてばこ』の中には、協賛されている企業からのプレゼント品を入れて、お渡ししています。	12
ABC運動	えーびーしーうんどう	A（あたりまえのことを）・B（ばかにしないで）・C（ちゃんとやる）を合言葉に、配達担当者全員が基本行動を身につけて行くための取り組みです。	15
来店人数	らいてんにんずう	入店したお客様の数です。	16
フルセルフレジ	ふるせるふれじ	バーコードの読み取りから会計まで顧客が行うレジのことです。	17
コープファン	こーぷふあん	コープデリの商品やサービスが大好きな人のことです。地域、組合員とともに、働く職員・委託会社も含め、コープデリに関わる全ての人を対象です。	20
居宅介護支援	きょたくかいごしえん	利用者が可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、ケアマネジャーが、利用者の心身の状況や置かれている環境に応じた介護サービスを利用するためのケアプランを作成し、そのプランに基づいて適切なサービスが提供されるよう、事業者や関係機関との連絡・調整を行うことです。	22

用語説明

訪問介護	ほうもんかいご	自分や家族だけで日常生活を営むことが難しくなった要介護者に対して、介護福祉士やホームヘルパーが自宅に赴き、入浴、排泄、食事等の身体介護、掃除、洗濯、調理等の生活援助、通院時の外出移動サポート等の日常生活上のお世話を行うサービスです。	22
ヘルパー	へるぱー	訪問介護員（ホームヘルパー）です。社会福祉法人、医療法人、NPO、民間企業等が運営する事業所で訪問介護に従事しており、在宅で生活している方々のお宅に訪問し、介護や生活援助を提供しています。	22
デイサービス（通所介護）	でいさーびす（つうしょかいご）	通所介護は、利用者が可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、自宅にこもりきりの利用者の孤立感の解消や心身機能の維持、家族の介護の負担軽減などを目的としています。施設では、食事や入浴などの日常生活上の支援や、生活機能向上のための機能訓練や口腔機能向上サービスなどを日帰りで提供しています。生活機能向上グループ活動などの高齢者同士の交流もあり、施設は利用者の自宅から施設までの送迎も行います。	23
レクリエーション	れくりえーしょん	仕事・勉強などの肉体的・精神的疲労をいやし、元気を回復するために休養をとったり娯楽を行ったりすることです。	23
サービス付き高齢者向け住宅	さーびすつきこうれいしゃむけじゅうたく	高齢者にふさわしい設備と見守りサービスを提供するバリアフリー構造の住宅です。	23
ほぺTOWN	ほぺたうん	職員向けSNSサイトです。コープデリ連合会とその会員生協、お取引先が情報共有しています。	26
スマイルコット	すまいるこっと	コープ商品を中心に、くらしに関わるさまざまな企画を通して定期的に参加者が交流する場です。生協未加入者も参加できる「開かれた交流の場」です。	28
コープぐんまフェスタ	こーぷぐんまふえすた	2023年10月に初開催をしたイベントです。多くの取引先が出展し商品の試食や販売、コープぐんまの宅配・共済事業や組合員活動の紹介・体験ブース、県内の6つの協力団体によるワークショップなども開かれました。	30

用語説明

フードドライブ	ふーどどらいぶ	家庭で余っている食品を集めて、食品を必要としている地域のフードバンク等の生活困窮者支援団体、子ども食堂、福祉施設等に寄付する活動です。	35
前橋市こどもフードパントリー事業	まえばしこどもふーどぱんとりーじぎょう	前橋市が企業や団体からの寄附により、食品や日用品を集め、申請を受け付けた対象世帯に対し、食品や日用品をご自宅までお届けする事業です。	35
美ら島応援もずくプロジェクト	ちゅらしまおうえんもずくぷろじえくと	伊平屋島産もずく商品1点お買い上げにつき1円を「美ら島応援基金」に寄付し、島の美しい自然環境を保護する活動に役立てています。	36
佐渡トキ応援お米プロジェクト	さどときおうえんおこめぷろじえくと	産直新潟佐渡コシヒカリ商品のご利用に応じて、売り上げの一部を「佐渡市トキ環境整備基金」に寄付し、「環境にやさしい佐渡米づくり」や「生きものはぐくむための環境づくり」に役立てています。	36
ハッピーミルクプロジェクト	はっぴーみるくぷろじえくと	コープの牛乳の売り上げの一部をユニセフに寄付し、アフリカの子どもたちの栄養改善を応援するプロジェクトです。	36
お米育ち豚プロジェクト	おこめそだちぶたぷろじえくと	お米の生産者と協力し、お米づくりを行っていない田んぼで豚のエサ用のお米をつくり、そして豚に飼料用米を食べてもらうことでお米の消費量を増やしたい。日本のお米づくりをささえ、田んぼを守る。おいしい豚肉を組合員にお届けする。日本の食と農業、そして畜産を元気にしたいと願い活動するプロジェクトです。	36
コープぐんま奨学金制度	こーぷぐんましょうがくきんせいど	コープぐんま奨学生（高校生）には、返済不要の奨学金（月1万円）を給付しています。高校入学予定者を対象に募集・選考の上、奨学生を決定し高校3年間の給付を行います。	37
プレスリリース	ぷれすりりーす	メディア（報道機関）に対して、新商品、イベントなどの情報を発表・提供することです。	42
サイバー攻撃	さいばーこうげき	インターネットなどのネットワークを通じて、サーバーやパソコンなどの情報端末に対し、システムの破壊やデータの窃取、改ざんなどを行う行為です。	43
ワークライフバランス	わーくらいふばらんす	仕事と生活のバランスがとれた状態のことです。	45

用語説明

LGBTQ	えるじーびー ていーきゅー	性的少数者を総称する際に使われる言葉です。	45
健康経営優良法人	けんこうけいえ いゆうりょうほう じん	特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を「見える化」することで、従業員や求職者、関係企業や金融機関などから社会的な評価を受けることができる環境を整備することを目的に、日本健康会議が認定する顕彰制度です。	46
EC70%	いーしーなな じっぱーせんと	2028年度末までに、コープデリ連合会全体のeフレンズ受注率を70%まで目指すことです。	51
夏季一斉休業	かきいっせい きゅうぎょう	配達担当者の健康への配慮や欠員対策としてコープデリグループ統一で、一斉に休業する取り組みです。	52
BP-BOX	びーびーぼっく す	撮影された画像を行動予測AIを用いて分析し、その結果に基づき運転者に衝突可能性の危険警告を通知する仕組みです。	53
EV車両	いーぶいしゃ りょう	EV車両とは、英語でElectric Vehicleの略で、日本語では「電気自動車」と訳されます。	53
対策店舗	たいさくてんぽ	競合出店で大きな影響を受けた店舗や、新店、改装後に想定を下回る実績を改善するために対策を行う店舗の事です。	55
特別対策店舗	とくべつたいさく てんぽ	店舗営業終了の基準に基づき、直接剰余高が2年連続で赤字となった場合「特別対策店舗」に指定し、必要な対策を講じています。	55
売り場スタンダードレベル	うりばすたん だーどれべる	店舗における「売り場のあるべき状態」を言います。	55
店舗毎のポジショニング	てんぽごとのほ じしょにんぐ	各店舗がその地域の中で市場や顧客の心の中でどのように位置づけられるかを明確にし、競合他社と差別化を図る戦略の事です。	55
ほぺたんアプリ	ほぺたんあぷり	店舗や宅配・イベント情報などが掲載され、お買い得情報やご注文もできるコープデリグループのアプリです。	56

用語説明

特定事業所加算	とくていじぎょう しょかさん	質の高い介護サービスを提供している事業所を評価する加算のことです。特に、専門性の高い人員を配置し、介護度が高い利用者等にも積極的に介護サービスを提供している事業所を評価するもので、地域における介護サービスの向上を目的としています。	57
科学的介護情報システムLIFE	かがくてきかいご じょうほうしすてむ らいふ	Long-term care Information system For Evidenceを和訳すると「科学的介護情報システム」で、国はこれからは医療と同じように介護も科学的に行っていきたいと考えています。そのために、介護に関するデータを集め、集めたデータに基づいて介護を行っていきます。そのための介護事業所から国への情報の送信とフィードバックになります。	58
生協10の基本ケア	せいきょうじゅうの きほんけあ	全国の生協が取り組む高齢者の自立支援のための基本的な考えやケアの基本的な形（標準）を定めたものです。	58
次世代育成支援行動計画	じせだいいくせい しえんこうどうけい かく	コープぐんままで働くすべての人がワークライフバランスを実践し、働きやすい環境を作ることにより各人の能力を十二分に発揮するために策定した行動計画です。	66
女性活躍推進行動計画	じょせいかつやく すいしんこうどうけい いかく	コープぐんまが女性職員が活躍できる労働環境を整備するため、女性の活躍に関する状況を把握し、改善のための分析を踏まえたうえで策定した、女性活躍推進に関する一般事業主行動計画です。	66
ハラスメント	はらすめんと	「いやがらせ」「いじめ」を指す言葉。身体的・精神的な攻撃などによって 他者に不利益・ダメージを与えたり、不愉快にさせることです。	66
奨学金返済支援制度	しょうがくきんへん さいしえんせいど	従業員の奨学金返済の一部または全額を支援する制度です。	67